

# 木の家住む住む

No.210  
2023年11月

発行：株式会社山田工務店

## 社長の 一棟入魂!!!

11月とは思えない暖かい気温の中でも、紅葉は色づき始めていますね。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

さて先日、あすたむらんどで、あわわ主催の「とくしま暮らしと家フェスタ」があり、弊社も出展し、新商品「masaki」パネルで製作したダイニングテーブルの展示、木のジャングルジム「くむんだー」、大工さんと一緒にカンナ削り、の3つのイベントを行いました。

木のジャングルジム「くむんだー」は人数制限でしたが、50名のちびっ子に楽しんで頂きました。そして今回大人

気だったのが、「大工さんと一緒にカンナ

削り」でした。masaki（徳島すぎ天然乾燥柱目集成材）に関しては、今回のダイニングテーブルの他、フローリングや壁材を開発中のため今後順次紹介させていただきます。

近頃は家づくりにおいてカンナを使う機会が減ってきたため、若い世代の方にはカンナが何かわからない時代になりつつありますが、木を扱い手仕事で家づくりをしている工務店の役割と想い、ちびっ子たちにカンナ削りを体験して頂きました。「かつお節みたい」「いい匂いがする」「木がツルツルになった」等、親御さんからも色々な感想が聞けて、木（無垢材）を知って頂く良い機会になりました。

現代は、見ただけでは木かどうかわからない樹脂製品が出回っていますが、本物の木の手触り、香り、そして環境にやさしい素材ということ、今後もコツコツと伝えてまいります。

山田文夫



## たかが工務店、されど工務店

文：山田加容子

### 二兎追うものは一兎も得ず③

「工務店」という仕事内容が理解でき始めたのは結婚して、5年ほど経った頃でした。

1棟建つまでの流れがようやく把握できたというか...漠然としていたものが、確立するまでに大体これくらいの時間必要な気がします。

この仕事はいかに機転が利き、お客様の御要望を受け入れながら、要領よく、かつ効率よく進めていくか...そう考えながら30年余り。いまだ途中で「正解」らしきものは見つかっていません。このことわざの様に何も得る事がないより、「一石二鳥」的にうまくいかないかなと(笑)。そうはいかないことは百も承知なのですが、まだまだですね....。

## 暮らしのコラム 冬支度始めよう

秋も深まり、冬の訪れが近づいてまいりました。冬支度はもうお済みですか？寒くなってからでは動くのも億劫になりがちですので、早めにはじめておきたいですね。

「冬支度」と聞くと、冬に行うものだと思ってしまうがちですが、実は秋に行われる大切な生活習慣です。俳句の季語でも「冬支度」は、晩秋に行うものとして使われており秋がおわる11月頃に行うのが一般的になります。

夏に使った、エアコンフィルターの掃除や洋服やカーテンの衣替え、温かな冬寝具の準備など、まもなくやってくる寒く冬に備えてしっかりと準備をしておきましょう。